

2020年1月6日
仁愛大学

2021年度仁愛大学入学者選抜の見直しに係る基本方針（予告）第3報

高大接続改革の策定（2017年7月13日 文部科学省）に伴い、2021年度以降の大学入学者選抜は「学力の3要素」を多面的・総合的に評価するための新たなルール適用下で実施されます。

それに基づき仁愛大学では、2021年度入学者選抜試験（2020年度実施）の基本方針を、以下のとおり策定しました。

【2021年度入学者選抜基本方針】

●全ての入試区分 **【前回の公表通り】**

- ・志願者の「学力の3要素」を入学者受け入れ方針に基づいて多面的・総合的に評価します。
- ・入学者受け入れの方針に基づく「学力の3要素」の評価には「調査書・志望理由書」さらに本人が記載する高校3年間の活動報告書（「主体性」「多様性」「協働性」に関する経験を記入）を活用します。

(1) 大学入学者共通テスト（旧センター試験）の活用方法について **【更新】**

- ・従来の「センター試験利用入試」に代わり、「大学入学共通テスト」の成績を利用した入試区分を設定します。（英語の成績は、リスニングの成績を含みます。）

(2) 本学が実施する個別試験について **【更新】**

・記述式問題の導入について

大学独自の入試では記述式問題を導入しません。従来通り、マークセンス方式（化学・生物は記述式）の入試とします。その代わり、全入試区分において志望理由書・活動報告書の提出を出願要件とします。

・英語資格・検定試験の活用について **【追加】**

大学独自の一部の入試において、「実用英語技能検定」を活用します。

従来通り、学校推薦型選抜（旧公募制推薦入試Ⅰ期、名称未定）において、「実用英語技能検定2級以上取得者」は適性検査を免除します。

詳細につきましては「令和3年度募集要項」をご確認ください。